

「海外に子ども用車椅子を送る会」を
支援してくださる皆様へ

子ども用車椅子
これまでに
送り届けた国々

累計 24ヶ国

8,817台

2021年9月現在

あなたの
サポートを
求めています

世界の肢体不自由の子どもたちにもたちらに動ける喜びを。



提供する

- 不要になった子ども用車いすを首都圏特別支援学校のPTAや療育センターのご協力で収集しています。
- 個人の方は送料ご負担で送ってください。

送り先 福生市加美平3-7-13 森田祐和 宛



会員になる

- 会員としての活動への参加をお待ちしています。
- 年会費は個人3,000円、法人は20,000円です。
- 入会希望者には入会申込書をお送りします。



寄付する

- 国内外の活動に経済的支援をお願いします。
- 海外へ送るには整備費・輸送費など1台約1万円かかります。

お振込先

郵便振替 口座記号番号: 00130-9-389966
海外に子ども用車椅子を送る会
多摩信用金庫 昭島支店 普通 3933782
海外に子ども用車椅子を送る会



活動する

- 会員でなくとも洗浄整備等の作業に参加できます。
- 毎月第3日曜日に例会で整備作業を行っています。
- 参加者の交流の場です。見学参加を歓迎します。

活動場所

海外に子ども用車椅子を送る会
拝島倉庫
福生市熊川73番地
(青梅線拝島駅より徒歩16分)

毎月第3日曜日
kaigaikurumaisu.org
詳細はHPで



ホームページ <http://kaigaikurumaisu.org/>

発行元 / 海外に子ども用車椅子を送る会 東京都福生市加美平3-7-13 TEL042-553-2342

N P O 法 人

海外に 子ども用 車椅子を 送る会



活動
レポート

2021年10月 第25号



タイの新しいパートナーRICDの 障害のある子どもたちへ

2021年7月 未整備で175台

タイのRajanagarindra Institute of Child Development(RICD)という新しいパートナーに175台の車椅子を7月20日に東京港から発送しました。RICDについては、二年ほど前から「NPO法人希望の車いす」を運営する谷理事長から「RICDに子ども用車椅子を送ってほしい」と依頼を受けていました。RICDの要望で早期に入手したい、未整備のまま送ってくればRICDで整備する、海上輸送運賃はRICDが負担するとのことでしたので、175台を未整備のままRICDに送りました。タイ国内のコロナ禍や輸入の手続きなどの理由で遅れが出て、最終的に8月27日(金)にRICDの拠点に到着しました。

RICDは、日本製の車椅子は高品質であることを理解していて、自らが車椅子の整備する技術を備えている、子どもたちに車椅子を供与するに当たって、その子の体に合っているかを確認する、車椅子が故障したときにすぐに修理できる体制を確立している、子どもの成長に伴い車椅子が体に合わなくなった場合は、サイズの大きな車椅子を供与する、また、子どもの体に合わなくなった車椅子は、他のサイズが合う子どもに供与する、こうしたことを実践している優れた福祉団体です。



車椅子が到着して喜ぶプロジェクトチームの記念撮影と車椅子の積み下ろしの様子



工房に並んだ車椅子



マレーシアの障害のある子どもたちへ

2021年8月 未整備で90台

マレーシアの長年のパートナーである「Aleps Dream Factory (ADF)」のサイド氏から、「コロナ禍で移動することはできないが、工場で未整備の車椅子を整備することはできるので送ってほしい」と連絡があり、2021年8月26日の午前に東京港を出る船で未整備の車椅子90台を送りました。9月11日にはサイド氏の倉庫に到着しました。

サイド氏は自ら車椅子を整備できる工場を立ち上げ、必要な機械はすべて自費でそろえ、マレーシア全土において連絡があれば、車椅子を届けるために力を注いでいます。15年間に渡り、1,500台以上の車椅子を受け入れてくれています。子どもたちへの車椅子の重要性に気づき、自発的に工場を建設して、マレーシア製の車椅子を製造するまでに成長を遂げたサイド氏の情熱には頭の下がる思いです。



サイド氏



ベトナム・パラリンピック選手に車椅子5台を贈呈

2021年9月 5台

2021年8月の東京オリンピックに続いて、パラリンピックが8月24日～9月5日の間に開催されました。161の国・地域並びに難民選手団のパラリンピックへの参加があり、当会が多くの車椅子を送っているベトナムからも選手団が来日しました。その選手団から車椅子を5台贈呈してもらいたいとの要望が届きました。日本製の車椅子は高品質なので、この機会に日本製を無償でもらうことができれば大変うれしいとのことでしたので快諾しました。早速、選手団をサポートするボランティアのグエンビンさんが、当会の押倉庫に車椅子を引き取りに来ました。当会が保管している車椅子は、子ども用が主なので選手の体に合うのか心配でしたが、幸い倉庫には大人用が数台あり贈呈した5台の車椅子は問題なく使用できるとのことでした。



車椅子に乗るベトナム・パラリンピック選手
真ん中の選手が銅メダルを取ったレ・バン・コン選手



成田空港で贈呈した車椅子に乗る選手を囲んで記念撮影です。
贈呈した車椅子に乗って選手たちは大変うれしそうでした。後列右側のブルーの服がグエンさんです

当会の詳しい活動内容はHPで <http://kaigaikurumaisu.org>